

今、浦学にできること」 1/7～9号

浦学の方向性 ● 常に前向き、一人ひとりが何かを感じ、考え、すぐに行動する
未曾有の大震災の教訓を教育の中に活かすこと

浦和学院高校東日本大震災対策本部



頑張る仲間をみんなて応援

野球部、石巻市にて2回目のボランティア活動

春の高校野球選抜大会、全校応援自粛のエネルギーと費用を大震災に傾けよう。

校訓に掲げた「克己・仁愛・共生」を、浦学生が実践しよう!!

年末に引き続き、ボランティア活動 野球部 石巻市にて貴重な体験

野球部の総勢19名（顧問1名・コーチ1名・生徒17名）が第13回被災地支援として、平成24年1月6日～10日（車中2泊）まで石巻市を訪問しボランティア活動を実施した。野球部のボランティアは、年末に続く2回目となる。

今回の活動は、NPO 法人「ピースポート」様に参加申し込みを行い、がれき撤去などの復旧作業を中心に行われた。年末に体調不良などで参加できなかったメンバーなど総勢17名の生徒は、学校をマイクロバスとワゴン車で出発、石巻市入りし、ピースポート災害ボランティアセンター（2泊宿泊させていただいた）を拠点に渡波地区周辺の長浜にてがれき撤去、雄勝町にて貝がら拾い、牡鹿半島にて畑づくりなどの作業に従事した。

さらに最終日の9日夕方には鹿妻小学校体育館に立ち寄り、12月から2回の交流が続いている子鹿クラブスポ少野球チームを相手に3回目の練習を手伝い、子どもたちと元気よく活動した。

寒風が吹き荒れる極寒の海、被災地の海岸を主体に清掃活動をした野球部の選手諸君に敬意を表したい。そして、石巻市立北上中学校の畠山先生からいただいた教示「ボランティアが本業ではない。今、目の前のことをしっかり行い、その上でボランティア活動から何かを学んで欲しい。その活動を少しでもいいから継続して欲しい」を一人ひとりが胸に刻み、自分たちが掲げた目的達成のため努力して欲しい。 【写真撮影 野球部顧問 安保隆示 保健体育科教諭】



渡波地区（長浜）の海岸の「がれき」を集める（1班）



長浜には、こんな大きな水槽が流されている。数人で掘り起こさなくてはならない（1班）



石巻市から東南へ1時間、牡鹿半島にて畑づくりを手伝う（1班）



この畑から1日も早く作物が育ち、地元の方々に笑顔が戻ることを祈るばかりだ（1班）



石巻市から北東に1時間、雄勝町では散乱する貝拾いを黙々と1日行う（2班）



今回の活動は、一般の方々のボランティア活動に加えていただいた



津波で被害を受けた倉庫がピースポート災害ボランティアセンターとして地域に貢献されている（石巻市新館）



今回も寝袋を用意し、集団生活を体験させていただいた（左） 一般ボランティアの方々に挨拶する野球部員（右）

浦学 ♥ 鹿妻・子鹿クラブ 元気の集団と3回目の交流!!



鹿妻小学校体育館では、元気の集団子鹿クラブの子どもたちと一緒に練習する野球部員
今回、子鹿クラブの練習メニューで浦学生がサポートする形となった



子鹿クラブ阿部日出喜代表は、「浦学生と過ごす、子どもたちの意識も高くなる。このような形で支援を継続してもらえることを『親の会』を含めて大変感謝している。」と話して下さった。

「笑顔・希望」—明日へ

浦和学院高校復興発展支援プロジェクト 浦和学院高等学校東日本大震災対策本部